

## 4 年間の活動に感謝と手ごたえ

吉川区地域協議会 会長 山岸 晃一



今期の任期 4 年は、コロナ感染症の影響でなかなか思うような活動には至りませんでした。それでも委員皆さんの意識は高く、部会制での活動に意欲的に取り組んでいただきました。

会長の役職をいただいた時から、任期内に「地域の元気に資する提案事業」を市に提出したいと考えていましたので、委員の皆さんにはそれぞれテーマを掲げて活動をしていただきました。高齢者対策部会、若者移住定住部会、地域づくり部会がそれです。

いろいろ紆余曲折はありましたが、3 部会の中から最終的に 2 つの意見書を市長に届けることができました。

公民館分館廃止を含む市の公の施設の適正配置計画を受けた自主的審議では、区内対象地域に向いて直接住民の皆さんと意見交換をすることができ、結論を出すのに大変有意義だったと思います。

また、全戸配布のアンケート調査を行い、区民の皆さんの意向を確認することができましたが、町内会長はじめ関係各位のご協力に改めて感謝申し上げます。杜氏の郷民営化やゆったりの郷の施設変更案についても、区民の皆さんの想いを確認、声を伝えることができたと思っております。

令和 5 年度から執行された地域独自の予算については、頸北 4 区の正副会長協議の中で合意の上、中川市長をお招きした 4 区全委員との懇談勉強会を開催し、その後も幾度となく制度の把握に努め、有意義な活用提案ができるよう努めてまいりました。

急激に過疎化が進む当区で、我々地域協議会は少しでもその進行を鈍化させるべく、今後の活動が大切になっていくことと考えております。

## 令和 5 年度吉川区地域協議会活動状況

※令和 5 年 12 月～令和 6 年 3 月末まで

※( )内は主な議題等

- 12 月 21 日… 第 8 回地域協議会（農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」の策定、「吉川区における公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」の意見書作成、地域協議会活動報告会等）
- 1 月 18 日… 第 9 回地域協議会（日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組、各部会の報告、地域協議会活動報告会等）
- 2 月 15 日… 第 10 回地域協議会（「吉川区における公民館を含む地域活動の促進と施設の有効活用について」（意見書）に対する回答、各部会の報告（「吉川区における若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について（意見書）」「尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について（意見書）」等）、地域協議会活動報告会等）
- 3 月 2 日… 地域づくりを考える集い（吉川区地域協議会活動報告会、地域づくりの新たな取組）
- 3 月 14 日… 第 11 回地域協議会（「吉川区における若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について（意見書）」に対する回答、「尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について（意見書）」に対する回答等）
- 3 月 25 日… 地域協議会だより第 49 号発行

## 【吉川区地域協議会活動状況等】

# 市長に意見書を提出 ～審議してきた地域課題解決策をまとめる～

地域協議会は、令和6年2月16日付で、2通の意見書を市長に提出しました。

今期（第5期）の地域協議会委員は、令和2年の就任以来、各部会に分かれ、自主的に地域課題解決策を審議してきました。

今回の意見書は、若者移住定住部会、地域づくり部会が主体となり審議してきた内容を地域協議会で協議し、まとめたものです。

### 【以下は意見書の抜粋】

#### 吉川区における若者の移住定住につながる魅力的な子育て支援策について

日頃より市民生活向上のため、市政運営に鋭意取り組まれていることに感謝を申し上げます。

さて、上越市はもとより、全国的にも人口減少、後継者不足と言われ、国においても対策を講じてはいますが、減少傾向はとどまらない状況にあります。当市の人口減少率は令和2年度の国勢調査では平成27年度と比較し4.5%減、吉川区では13.3%減と市平均を大きく上回っている状況です。

この課題に対し、当吉川区地域協議会では中学生を対象としたアンケートや地域住民全戸に向けたアンケート調査、移住者の方との意見交換、先進地である阿賀野市への視察を実施するなど、市の人口減少対策施策も調査しながら、検討をしております。

国、県、市においても人口減少対策や移住対策などを進めておりますが、市として吉川区のような中山間地域に集中して、子育て世代に向けた支援を行い、都市部の青年層を呼び込み、移住、定住を図り、これ以上の人口減少を鈍化させるための支援策が必要であると考えました。

上記のことから、視察先である阿賀野市の下記取組事業等を参考として、引き続き人口減少対策、移住対策に有効と思われる事業の推進についてご検討をお願いします。

- 1 乳幼児おむつ代金全額支援、
- 2 高校卒業までの医療費免除、
- 3 ひとり親家庭等家賃助成制度、
- 4 ひとり親家庭等の学校にかかわる活動等有給休暇導入制度、
- 5 小学校からの英語教育助成、
- 6 お試し空き家利用暮らし体験事業、
- 7 過疎地域における子育て特区制導入、
- 8 吉川区における働く場の確保

#### 尾神岳周辺の観光振興と道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について

日頃より市民生活向上のため、市政運営に鋭意取り組まれていることに感謝を申し上げます。

さて、吉川区では、尾神岳、道の駅よしかわ杜氏の郷を観光スポットとして位置づけ、旧吉川町時代から観光振興策を進め、合併後においても、市による施設の運営や維持、観光イベントの開催、地元観光協会による観光振興を進めてまいりました。

尾神岳はパラグライダーの聖地として、全国から愛好者が集まる場所となり、道の駅は、市内に3か所あるうちのひとつとして、温浴施設、酒造場、野菜直売所等があり、道路通行時の休憩場所以外に、道の駅を目的地とした来訪者も訪れる場所となっています。

現在、市においても、道の駅関係者と地域団体、地域協議会委員も参加する道の駅活性化検討会を立ち上げ、活性化策の検討を進めていますが、地元の思いとして、より多くの方が道の駅や吉川区に訪れて、当区の良さに触れ、交流を持ち、地域の活性化を図りたいと思っています。

この課題に対し、当吉川区地域協議会では区内全世帯向けアンケート調査を行い、活性化検討会でも関係業者の意見も伺い、検討をしております。

協議会では道の駅をキーポイントとして道の駅の活性化と、またそこから尾神岳に繋がる路線を整備することにより、地域の振興につながると考えました。

上記のことから、次のとおり意見申し上げますとともに、引き続き観光振興支援策、道の駅の活性化策についての推進をお願いします。

- 1 尾神岳周辺道路の維持管理の充実（枝払いや草刈り頻度の増、カーブミラー、ガードレールなどの安全設備の増設など）
- 2 尾神岳周辺道路の整備・改修（道路幅の拡張や退避スペースの増設、側溝の整備）
- 3 道の駅よしかわ杜氏の郷のPR強化（道の駅自体のPR、道の駅内の情報コーナーの充実）
- 4 道の駅よしかわ杜氏の郷敷地内の緑地の活用（公園やキャンプ場などに利用）

## 4年間の活動を報告 ～新しい地域づくりを考える集いで発表～



4年間の活動を報告する各部部长



新しい地域づくりの  
取組に関する講演

3月2日、吉川コミュニティプラザ多目的ホールで、「みんなでやろっさ新しい地域づくり「地域づくりを考える集い」」が開催されました。

会場には約30人が集まり、吉川区地域協議会の活動報告や新しい地域づくりに関する講演を聞きました。

第1部の吉川区地域協議会活動報告会では、山岸会長はじめ、薄波・佐藤 両副会長、各部部长が4年間の活動の概要や成果などを報告、第2部の地域づくりの新たな取組では、講師の新潟県中小企業団体中央会連携推進課の渡部翔大さんが、特定地域づくり事業協同組合制度についてお話しされました。

会場からは、地域協議会やまちづくり吉川の吉川区活性化への尽力をねぎらう声とともに、活性化策を考える際は同じ吉川区内であっても地域ちいきの特性を考えてほしいとの意見や、高齢者対策と若者の移住定住対策も関連が深いという意見が出ました。

## 活動を振り返って

### 高齢者対策部会 部部长 片桐 利男

私たちは、特に交通弱者の視点が重要との思いから、研修・検討を重ねてきました。初めに上越市交通政策課に赴き上越市の交通施策について研修し、市内の公共交通網の現状や今後について学んだほか、各地の様々な輸送手段の視察や関係者との意見交換を通じ、改めて高齢者の移動手段の大切さを認識しました。また、吉川区で行われた上越市公共交通懇話会を傍聴し、区内の公共交通が住民に寄り添ったものになる将来像についても確認しました。今後は、「通院や災害時の避難など」の視点も加え、推移を見守って行きたいと思えます。

### 若者移住定住部会 部部长 平山 浩子

部会として、中学生や移住してこられた方々から吉川に対する想いなどご意見をお聞きしていくなかで、地域に活力を与える「若い世代が吉川に留まること」、「若者が吉川を選んでくれるにはどうしたら良いか」を考えたとき、子育て支援策の充実、より良い子育て環境が整っていること、が大きなポイントになるはずと確信し、協議・検討を進めてきました。そして協議会委員全員との協議を経て、その思いを意見書としてまとめることができました。委員として吉川の問題や素晴らしさを改めて自分のこととして考える事ができた4年間でした。本当にありがとうございました。

### 地域づくり部会 部部长 中村 正三

地域づくりとは何か、どのような事なのかを常に考えてきました。あまりにも大きな課題であり、難しい事柄です。そんな中で、地域の皆さんが何を考え希望されているのかが知りたくて住民アンケートをさせていただきました。その内容はもとより、部会員だけでなく全協議会委員の意見も盛り込み、意見書にまとめあげることができました。そして市長に届けることができました。この意見書は吉川区の皆さんの意見が詰まっている大切なもの。身が引き締まる思いです。最後になりましたが、皆さん4年間ありがとうございました。

## 活動を振り返って

### 副会長 薄波 和夫

厳しい春を迎えた年ではありませんが、次世代への息吹を身近に感じる今日この頃、少子高齢化の文言なぞを打ち砕くべく気概に期待したいとともに、焦らず真摯に前を向きつつ、これからの将来へ向け、果敢なチャレンジと議論と深めることが、歴史ある吉川を守り未来を築く道程に繋がるものと信じております。

### 副会長 佐藤 均

任期中はいろいろご意見ご協力をいただき感謝を申し上げます。吉川区をより元気にするために活動ができたのかは反省すること然りです。次期委員の皆さんには、待遇の改善と新鮮な感覚、若い力で、より良い吉川区に向けた活動を望みます。

### 五十嵐 豊

今季で一番時間を費やし協議した内容は分館の再配置計画でありました。残念ながら廃止とされた分館もありますが、地域の絆や地域の触れ合いを絶やすことなく、今後も明るい地域づくりにご協力頂きたいと思えます。4年間ありがとうございました。

### 江村 奈緒美

委員としてお役に立てたかは分かりませんが、自分なりに疑問点を聴いたり食い下がってみたいしました。お世話になりました。吉川の人口減少は進んでいますが、別の形で自分に何ができるか、これからも考えていきたいと思えます。また、若い方が委員になって発信していただきたいと思えます。

### 大滝 健彦

4年間の任期中は皆さまからご意見ご協力をいただき大変感謝いたします。元気のある地域にすべく考え活動してきましたが、まだまだ力不足で何ができたかわからないまま期間が過ぎてしまいました。今後も吉川の未来のために微力ではありますが、応援させていただきます。お世話になりました。ありがとうございました。

### 関澤 義男

第5期地域協議会で実施した住民アンケート等から地域の課題を整理し将来ビジョンを検討し「道の駅よしかわ杜氏の郷」「尾神岳周辺」2地域の活性化についての意見書を市に届けることができたこと、地域独自の予算事業を提案できたことは、大きな成果でした。地域協議会委員の皆さん、地域の皆さん、ありがとうございました。

### 高野 幸夫

地域と行政の間の大切な役割を担い弱者を救済し発展への道しるべとなるべく我々が考えてきたことは、まさに地域課題解決への道のりであったと思えます。公の施設の統廃合、分館の廃止、財政構造確立に向けた歳出の見直しなど、課題は尽きませんが、これからも地域のふれあいや交流を絶やすことなく協力していきたいと思えます。

### 橋爪 正平

4年間、皆様のご指導をいただき、無事終了することができました。吉川区の活性化のために色々な意見をお聞きし、改善策を模索する日々を過ごしました。「吉川の魅力発掘」のために少しでも力になればと奮闘しましたが、現実には厳しく、課題は山積しています。少しでも前向きになれるよう、今後も知恵を絞りたいと思えます。

## 【編集後記】

地域協議会だより第49号をお届けします。私達の任期もこの4月末で満了となります。これまでの4年間、分館廃止に関して地域に出向いての意見交換や、吉川区の魅力・課題等に関するアンケートの実施と対応策の協議等々、吉川区をより良くするために検討・協議を多く重ねてまいりました。今後も皆様のご意見ご要望を多くお聞きし、共に考え、より良い吉川作りに努める様に、次期協議会へ引き継いで行きたいと思えます。ありがとうございました。